

織り重なる路地

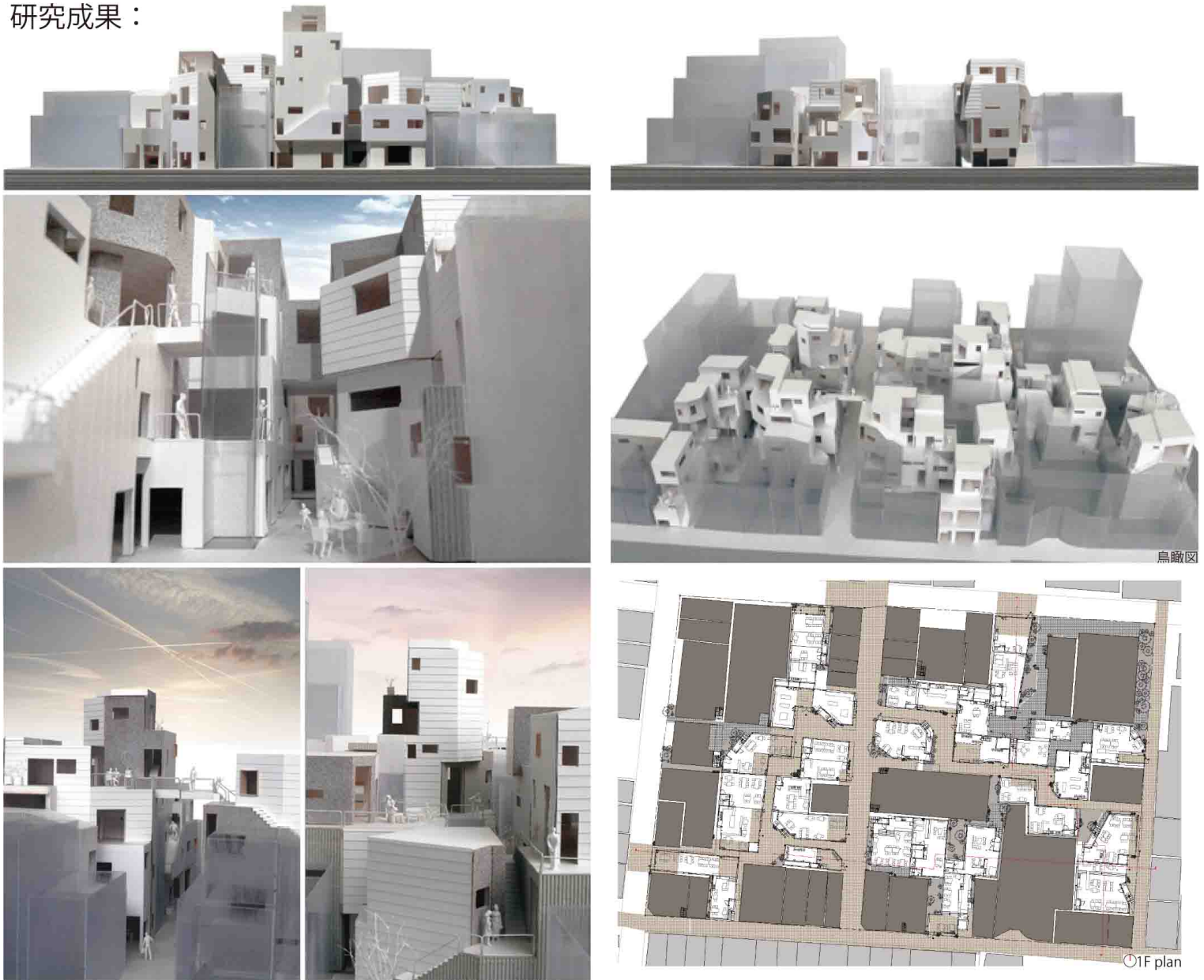
—高密度商業地域における住宅と商業施設のあり方—

曾我部昌史研究室 村上敬祐

研究目的：大規模な都市計画や再開発事業によって一体的に計画された建築は、周辺から独立していることが多くほとんど関わりをもっていない。そういった大規模開発的な建築ではなく、一体的な計画による立体的な関係を持った、既存の町の雰囲気を変えない新たな建築を模索する。

研究概要：港区芝の周辺では大規模な開発や建物の高層化が進んでいるが、本計画敷地の五丁目周辺では老朽化した木造戸建て住宅群が密集しており、これらが既存不適格に当たるため更新が滞っている。その結果、豊かな体験をもたらす魅力ある路地が残されてもいる。本計画では、各所に広めの空間を設けるなど防災性能を向上させつつ、立体的に展開する魅力ある路地をもった建築を提案する。

研究成果：



苦労した点や感想など：

まずは感謝の意を。ご指導して頂いた曾我部先生を始め、一緒に頑張った同期のみんな、よっち君、そしてこの修士設計に関わった沢山の方々、本当にありがとうございました。

次に感想。とにかく「楽しくやる」ことを心がけました。自分が楽しいと思わなければ、作品そのものもつまらなくなってしまいますので。

これからケンチクを頑張る人へ。色々しんどいこともあると思いますが、楽しく乗り切ってください。